

テグラ・シャッター1型Bタイプ

取付説明書

工事区分にご注意下さい。

16ページ「20.結線」のみ有資格の電気工事店様にご依頼下さい。

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■梱包明細書

1 壁部ユニット

●側壁セット(右)

1 梱包

名	称	員 数
側壁ユニット(右)		1

●側壁セット(左)

1 梱包

名	称	員 数
側壁ユニット(左)		1

●前面パネルセット

1 梱包

名	称	員 数
前面パネル		1
レール(右)		1
レール(左)		1
光電センサー用CD管(L=5000、2000)		各1

●笠木セット

1 梱包

名	称	員 数
上部カバー		1
笠木		2

●部品セット

1 梱包

名	称	員 数
上部カバー端部キャップ(右)		1
上部カバー端部キャップ(左)		1
上部カバー取付ネジ φ4×10(平座金・ワッシャー付)		20
笠木取付ネジφ4×10(平座金・ワッシャー付)		4
ベースプレート		4
ホールインアンカー M10(六角ナット入)		8
ベースプレートジョイントボルト M8×120		4
ベースプレートジョイント平座金 M8用		4
ベースプレートジョイントパネ座金 M8用		4
ベースプレートジョイント六角ナット M8用		4
レール取付ネジ M4×10ナベ		12
プッシュボタン φ8用		12
前面パネル固定ボルト M8×18		6
スイッチ・受信機		1
スイッチ(蓋部分)		1
スイッチ(蓋部分)取付ビス(座金入り)		4
取付説明書、取扱説明書、保証書		各1
センサー取付プレート		2
センサー取付プレート取付ビス φ4×8		4
センサー取付ビス M4×25		4
センサー取付ナット M4		4
センサーカバー(R・L)		各1
センサーカバー取付ビス		8
投光側光電センサー(コード5m付)		1
受光側光電センサー(コード2m付)		1
CD管固定サドル		2
CD管固定サドル取付ビス φ4×10		4
リモコン送信機		1

2 シャッターセット

名	称	員 数
シャッター本体		1
※下部シャッターカバー		1
※下部シャッターカバー取付ネジ		4
フックリング		1
ストッパー		2
クランクハンドル		1
アンテナ		1

名	称	員 数
接続ケーブル		1
仮電源コード		1
小袋入り	フックリング取付ネジ M4×18丸サラ小ネジ(黒)	2
	ストッパー取付ネジ M4×12丸サラ小ネジ	6
	アンテナ取付ネジ M4×10ナベ小ネジ	2
	前部シャッターカバー振止ネジ M4×12	5
	サイドブラケット振止ネジ M6×20(PW付)	2

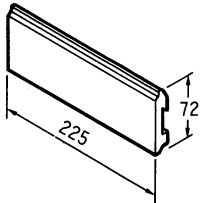
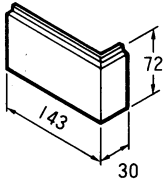
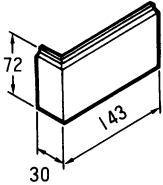
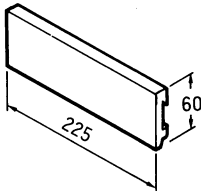
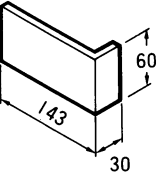
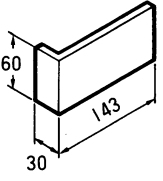
注)※のものは、仮付けして梱包してあります。

③タイルセット

名 称	員 数	商品コード	必要梱包数	必要数
二丁掛平 大箱	56	01	5	264(16)
二丁掛平 小箱	34	02		
曲 右	40	11	3	98(22)
曲 左	40	12	3	102(18)
天端用二丁掛平	15	15	2	20(10)
天端用曲セット		16	1	
○天端用曲右	6			2(4)
○天端用曲左	6			2(4)

() 中は予備数

〈タイル形状一覧〉

名称	二丁掛平	曲 右	曲 左
形 状			
名称	天端用二丁掛平	天端用曲右	天端用曲左
形 状			

④接着剤セット

1 梱包

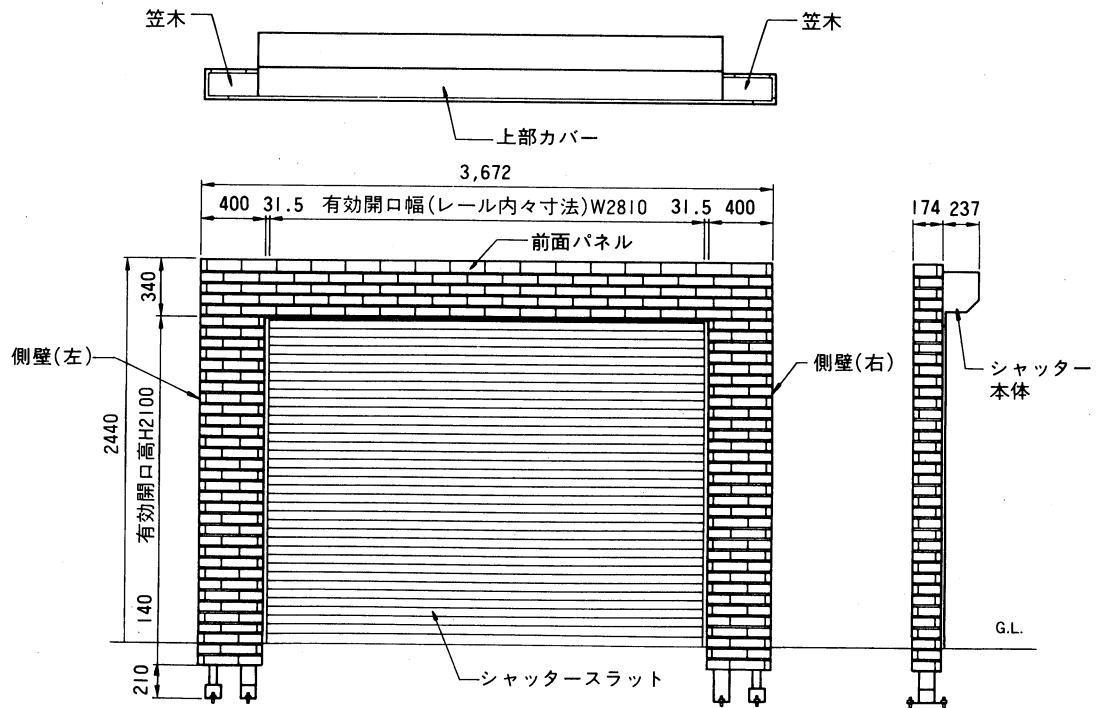
名 称	員 数
接着剤(333ml)	10

⑤接着剤セット

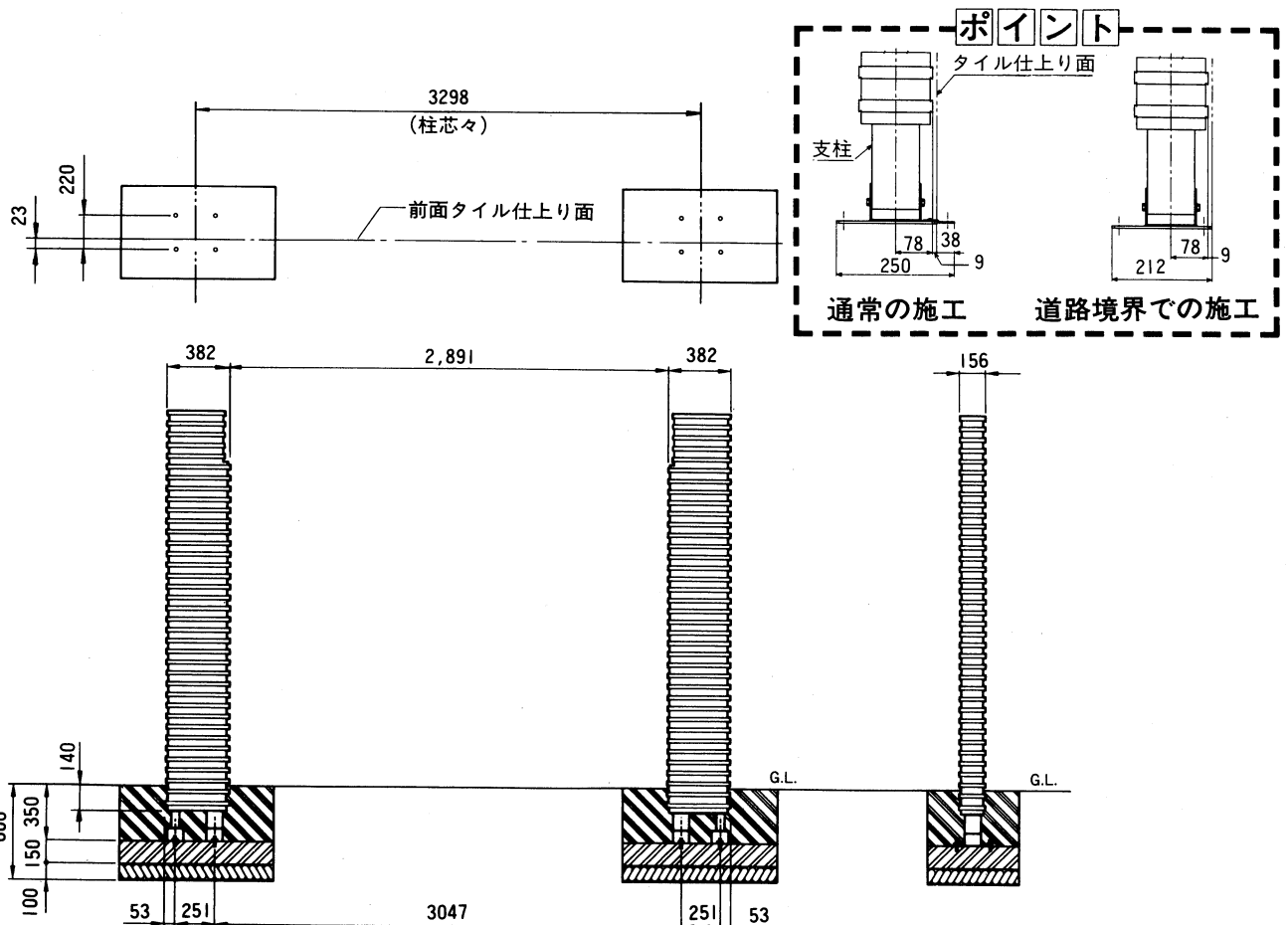
1 梱包

名 称	員 数
接着剤(333ml)	4

1. 基本寸法及び各部名称

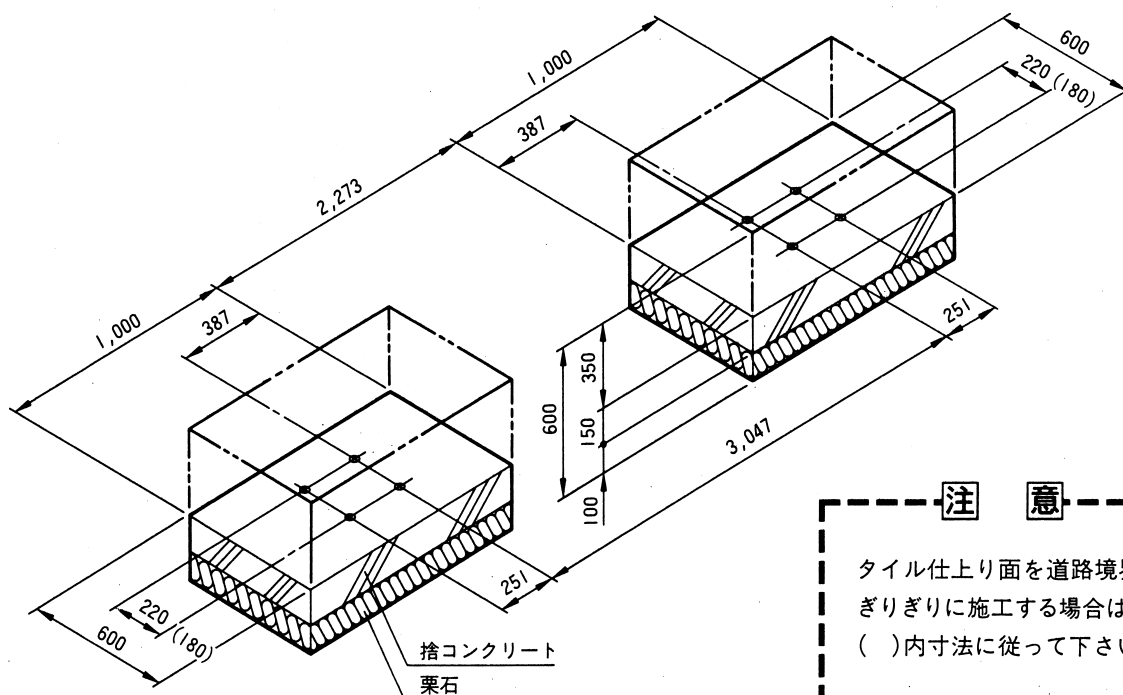


2. 基本寸法・壁ユニット寸法



3.基礎の施工

- ①基礎施工図の要領で捨コンクリートを施工して下さい。
- ②墨出しをしてホールインアンカーの穴あけ($\phi 10.5$)を行って下さい。
(穴あけはコンクリートが充分硬化してから行って下さい。)
- ③ホールインアンカーを打ち込んで下さい。

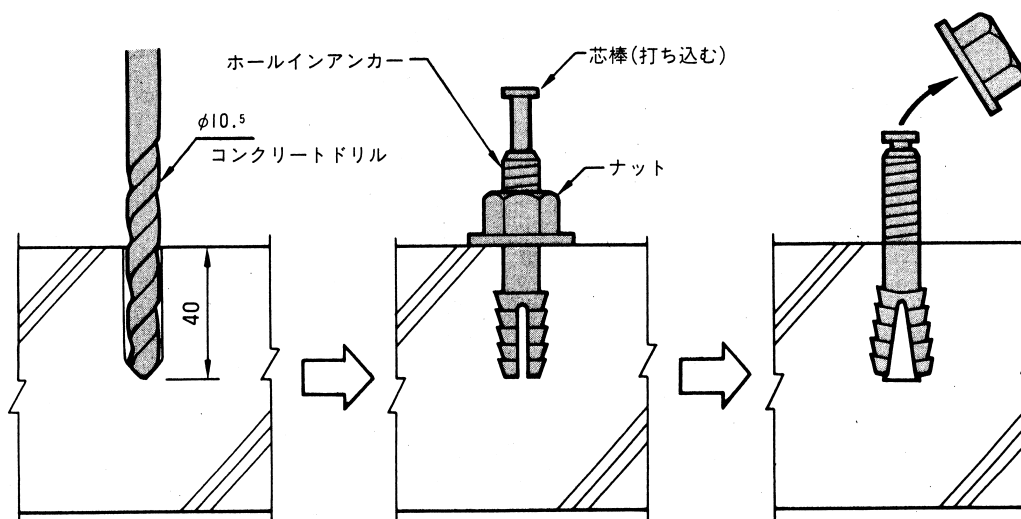


注 意

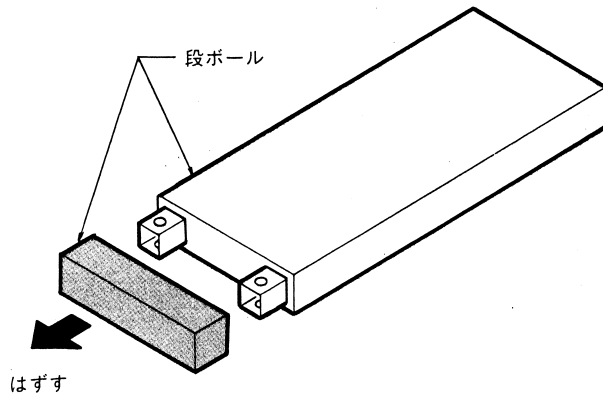
タイル仕上り面を道路境界
ぎりぎりに施工する場合は、
() 内寸法に従って下さい。

4.ホールインアンカーの施工

- ①直径10.5mmのコンクリートドリルで深さ40mmの下穴をあけて下さい。
- ②ホールインアンカーに付属のナットを手で一杯までネジ込んで下さい。
- ③穴にホールインアンカーを入れ、芯棒をハンマー等で充分打ち込みます。
- ④ナットを一担、取りはずして下さい。



5. 開梱と養生



①段ボール梱包の下部をはずして下さい。

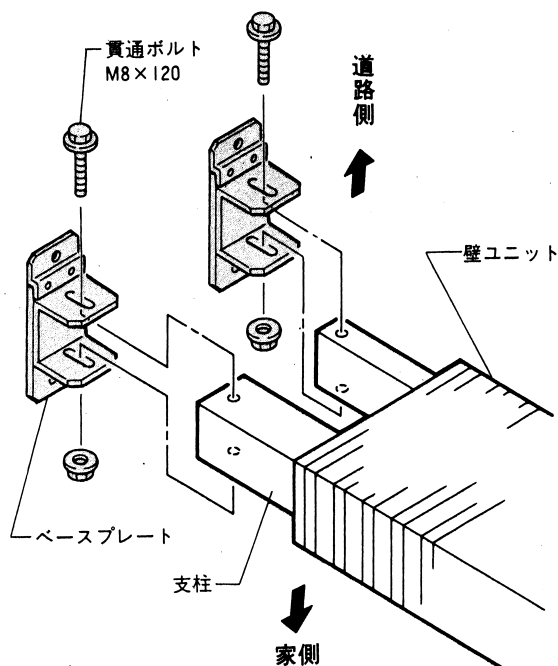
(継ぎ目のテープのミシン目を切って下さい)

②上部の段ボールは養生材として用いますので
建込まで付けておいて下さい。

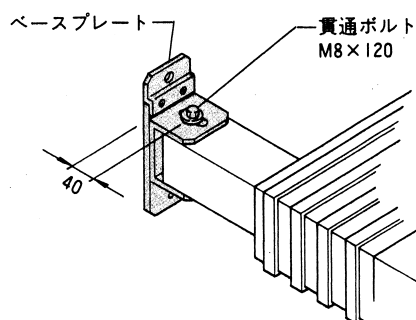
※タイル張りまで日を置く場合は、紫外線の影響を避ける為、必ず段ボールで養生をして下さい。

6. ベースプレートの取付け

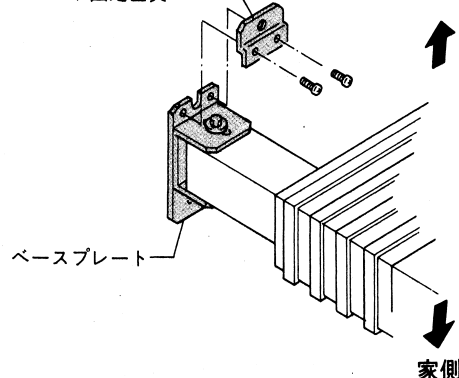
●壁ユニットの支柱にベースプレートを通しボルトにて固定して下さい。



●ベースプレート取付状況



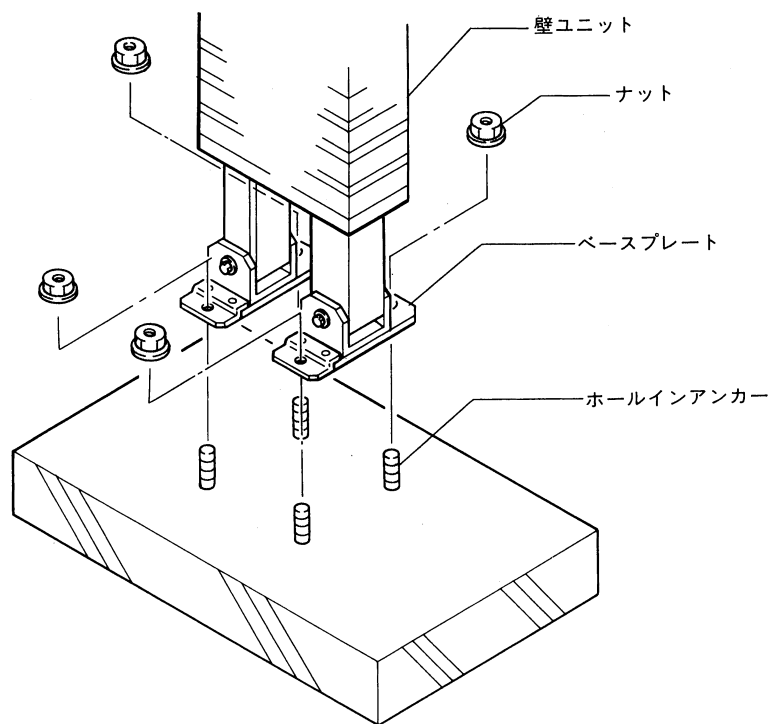
ベースプレート固定金具



●道路境界ぎりぎりに
施工する場合は、ベ
ースプレート固定金
具を取りはずして下
さい。

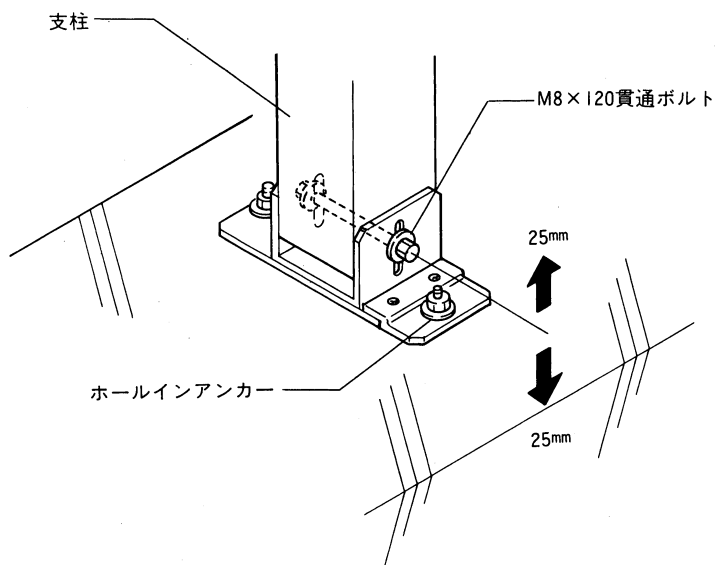
7. 壁ユニットの固定

- ①ベースプレートをホールインアンカーにナットで仮固定します。
- ②右・左の側壁を仮固定した後、側壁と前面パネルをボルトで仮止めします。
(8. 前面パネルの取付けを参照下さい)
- ③レベル・側壁と前面パネルのタイル用溝の通りを調整して下さい。
- ④調整後、全てのボルト、ナットを本締めして下さい。



〈レベルの調整方法〉

- ①ベースプレートの貫通ボルト (M8×120) をゆるめて調整して下さい。(調整範囲は50mmです)



9. レールの取付け

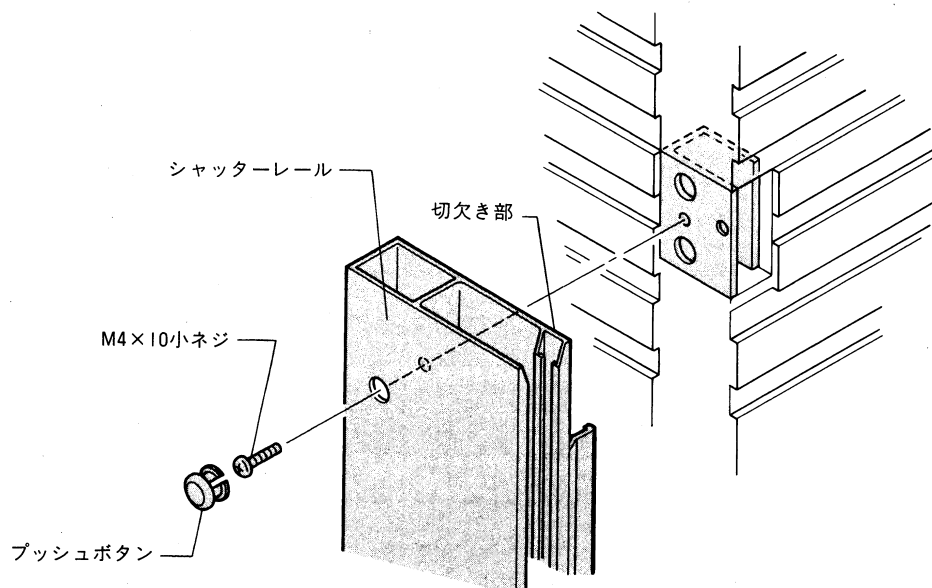
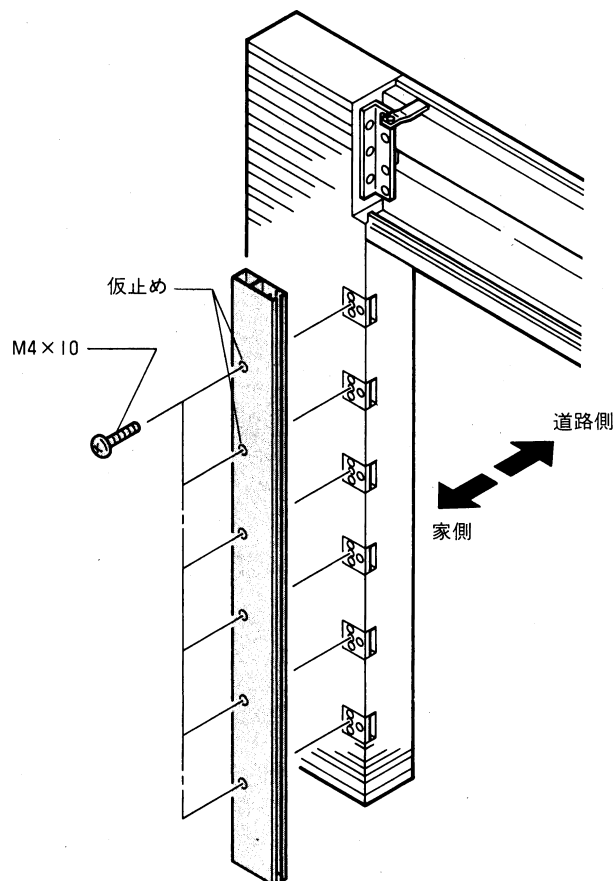
① レールを側壁にビス (M4×10) で取付けます。

※上の2個のネジは仮止めにして下さい。

切欠き部を上側に取付けて下さい。

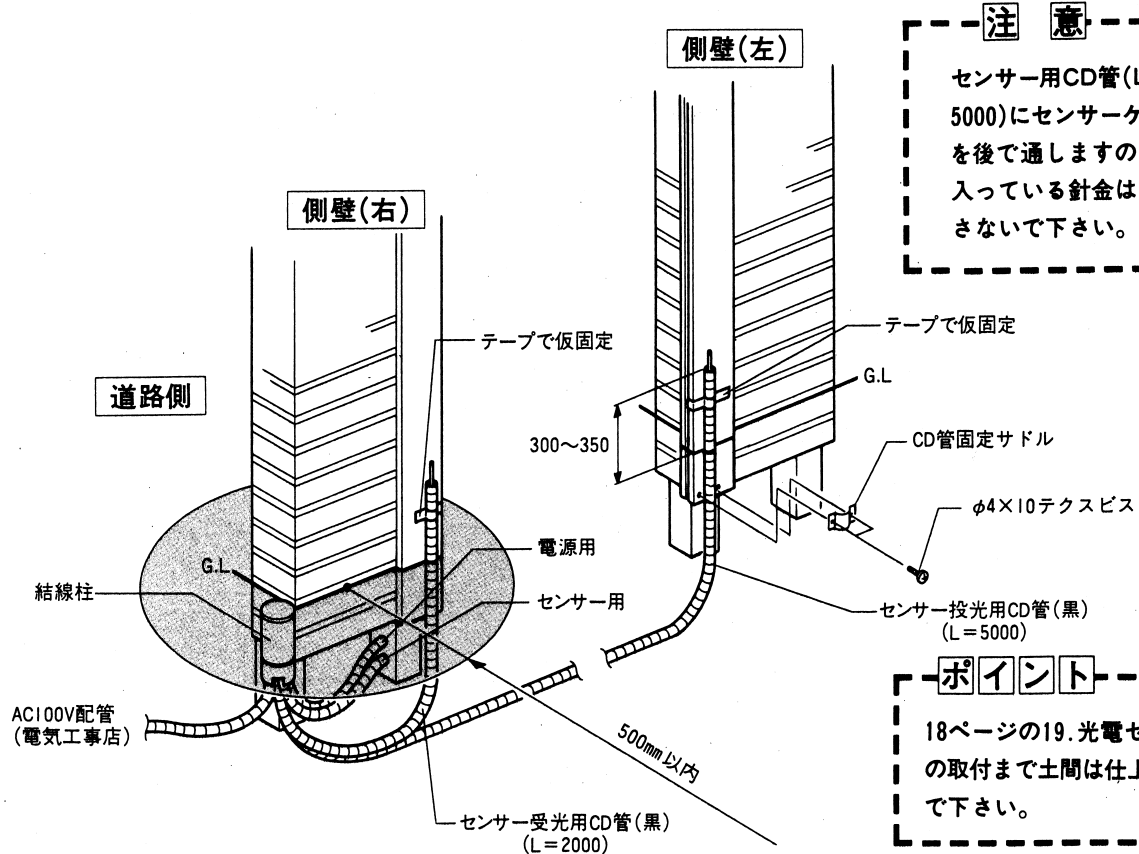
② シャッター本体取付後、仮止めのネジを本締めして下さい。

③ プッシュボタンを付けて下さい。



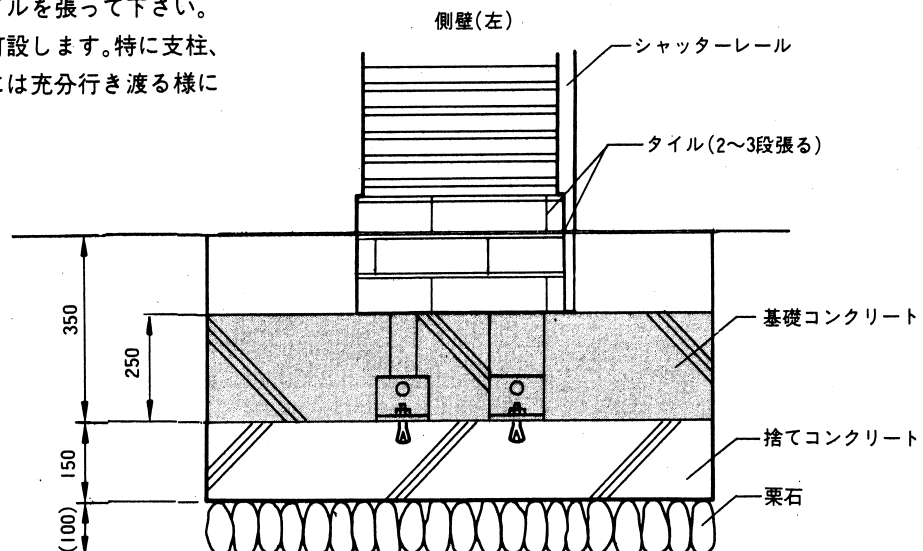
10. CD管の配管

- ①結線柱は、側壁(右)の家側面から半径500mm以内に施工して下さい。
- ②側壁(支柱部)からのCD管(電源・センサー用)・センサーからのCD管(センサー受光・投光用)計4本を結線柱まで配線して下さい。尚、結線柱内での電気工事は有資格の電気工事店へご依頼下さい。
- ③CD管をCD管固定サドルとφ4×10テクスビスで固定して下さい。
- ④センサー用CD管はガイドレール部にG.Lより300～350mm出してテープ等で仮固定して下さい。



11. 基礎コンクリート打ち

- ①下から2～3段のタイルを張って下さい。
- ②基礎コンクリートを打設します。特に支柱、ベースプレート廻りには充分行き渡る様にして下さい。



12.シャッターの組付け

1. シャッター本体の取付け

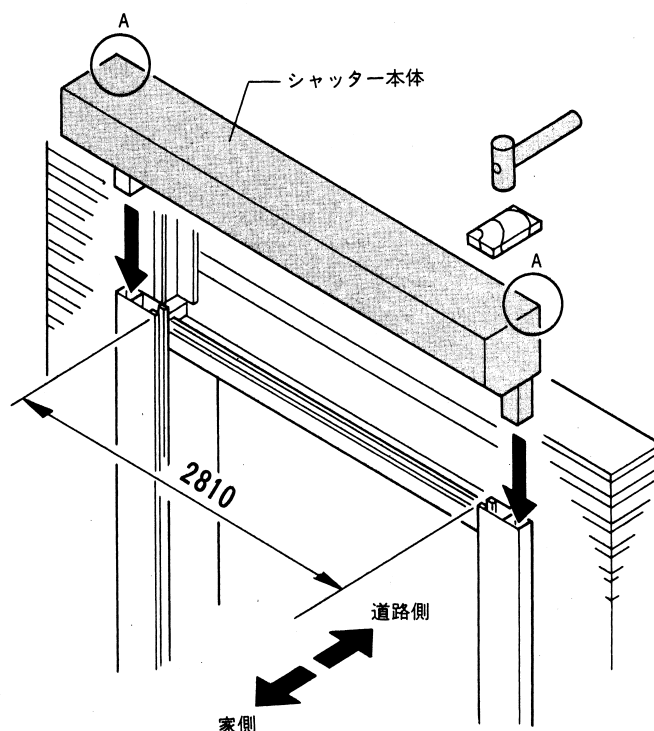
- ①シャッターレールの内寸法(W2810)を確認して下さい。
- ②シャッター本体の足とレールの穴を平行にして差し込んで下さい。

ポイント

- 正しい場合はシャッターレールのビスを緩めて、取付位置を調整して下さい。
- 最後まで差込めない場合は、A部分に当て木をしてハンマーで軽くたたいて下さい。

注意

- シャッター本体のレールへの差込みは、平行均一にして入れて下さい。
- 無理にハンマー等でたたき込むと差込み足が折れることがあります。



2. シャッター細部の組み付け

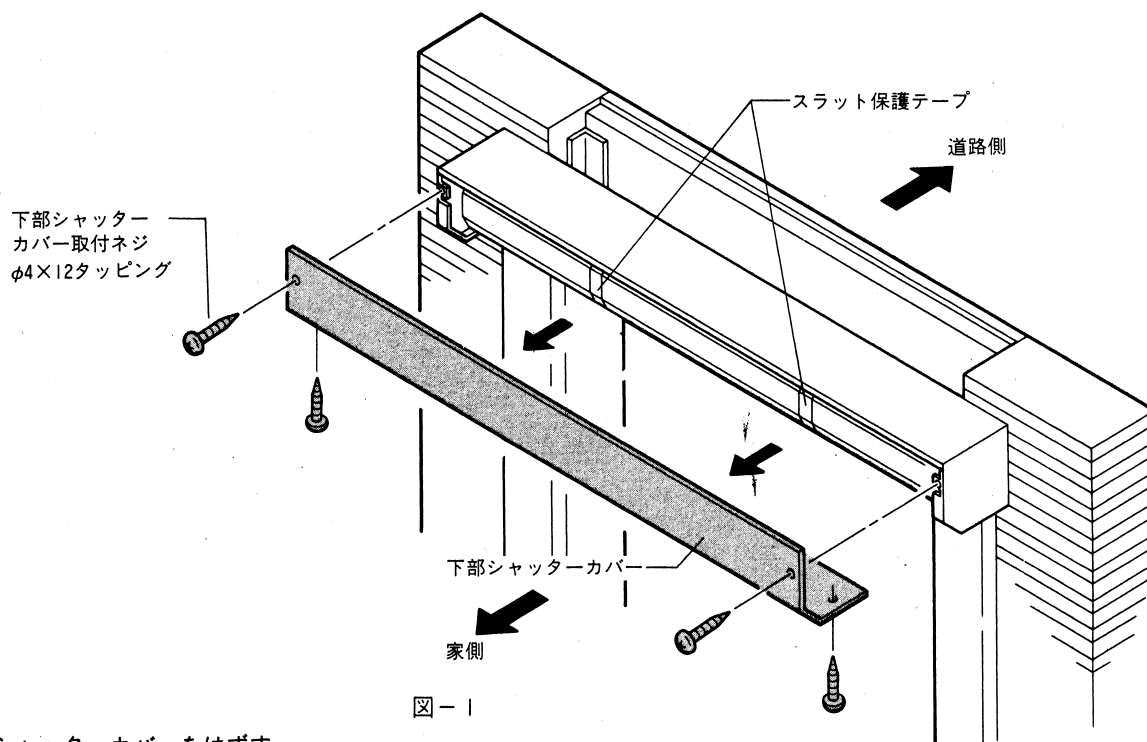


図-1

- ①下部シャッターカバーをはずす。
- ②上部シャッターカバーをカバー振止用ネジ(M4×12ナベ小ネジ)で前面パネルに固定して下さい。

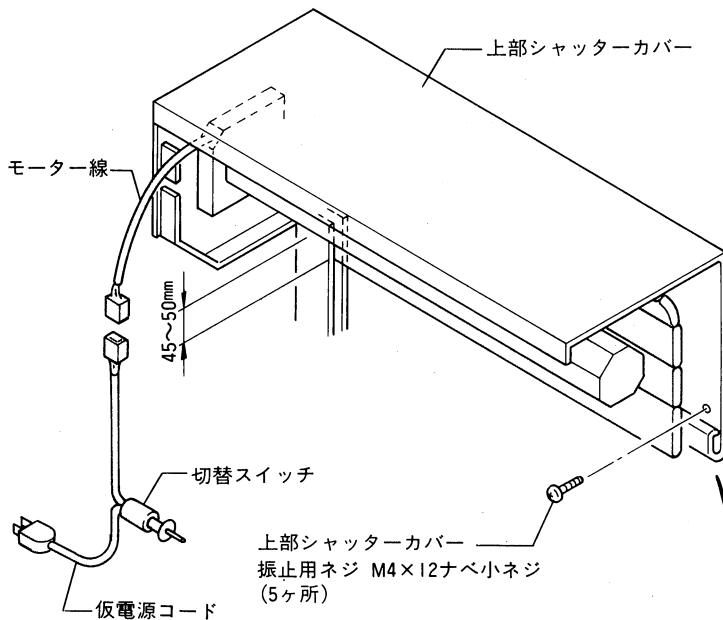


図-2

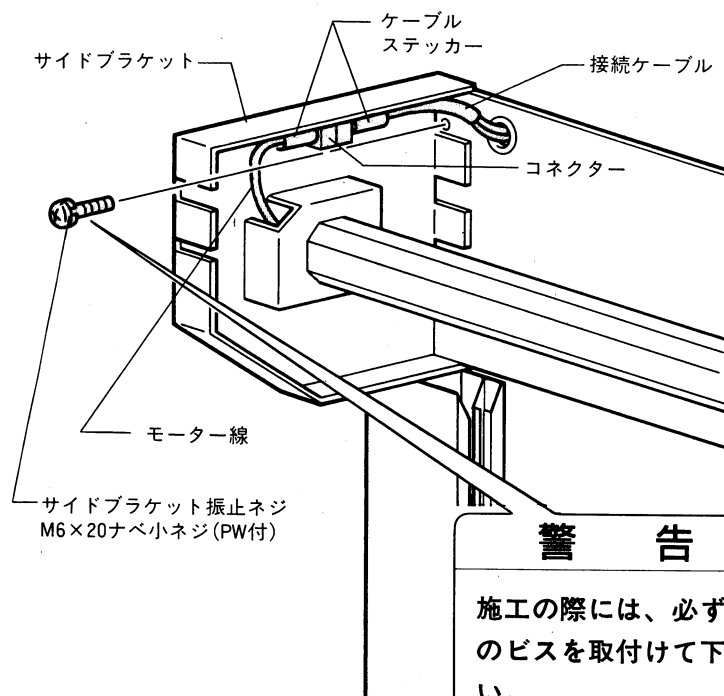


図-3

警告

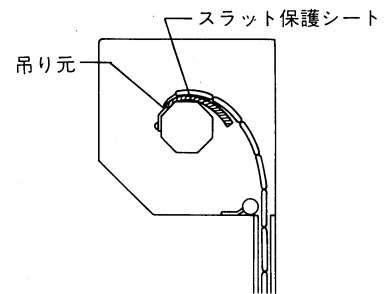
施工の際には、必ずこのビスを取付けて下さい。
シャッター本体が落下する危険があります。

- ③スラット保護テープを取りはずし、スラットをレールの溝に入れる。

図-2の様に45~50mmになる様にスラットを引き降ろして下さい。

注) スラットが正しくレールにセットされていないと故障の原因になります。

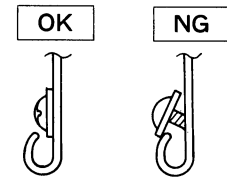
- ④シャッタースラット吊元部のスラット保護シートを取りはずして下さい。



- ⑤モーター線と付属の仮電源コードをコネクターで接続し、交流100ボルトに接続して下さい。

切替スイッチを「閉」に入れてシャッターを閉めて下さい。

注) 出荷時にリミットスイッチは調整してありますが、万一停止位置がずれるような場合には、17ページの“リミット調整方法”を参照して下さい。

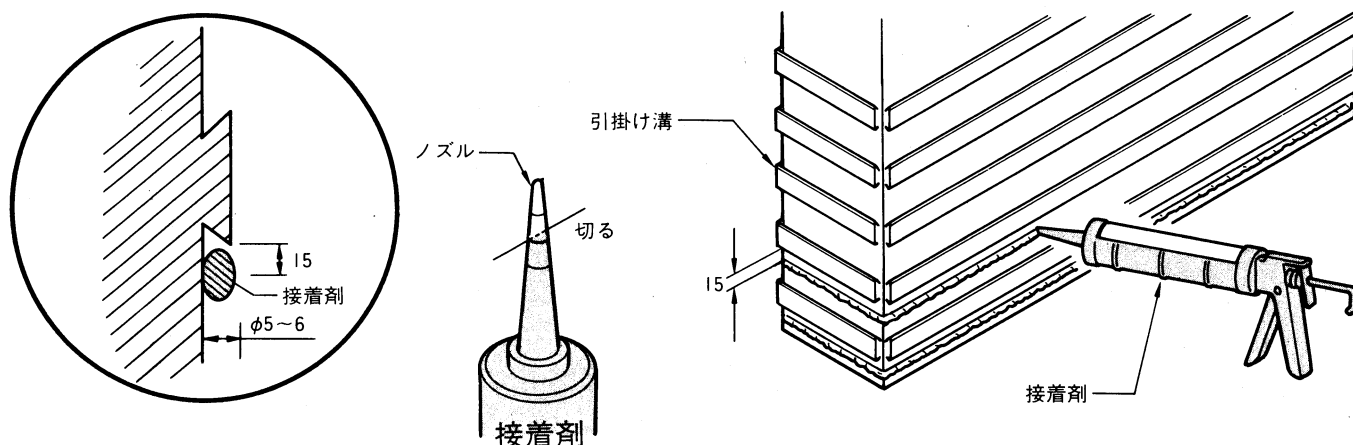


- ⑥サイドブラケットをサイドブラケット振止ネジ(M6×20)で固定する。
⑦接続ケーブルを側壁パネル側から通し、モーター線とコネクターを接続する。
⑧ケーブルステッカーでモーター線、接続ケーブルを固定して下さい。

注) ケーブルは、たるまない様にして下さい。シャッターの開閉時にスラットに接触して、故障の原因になります。

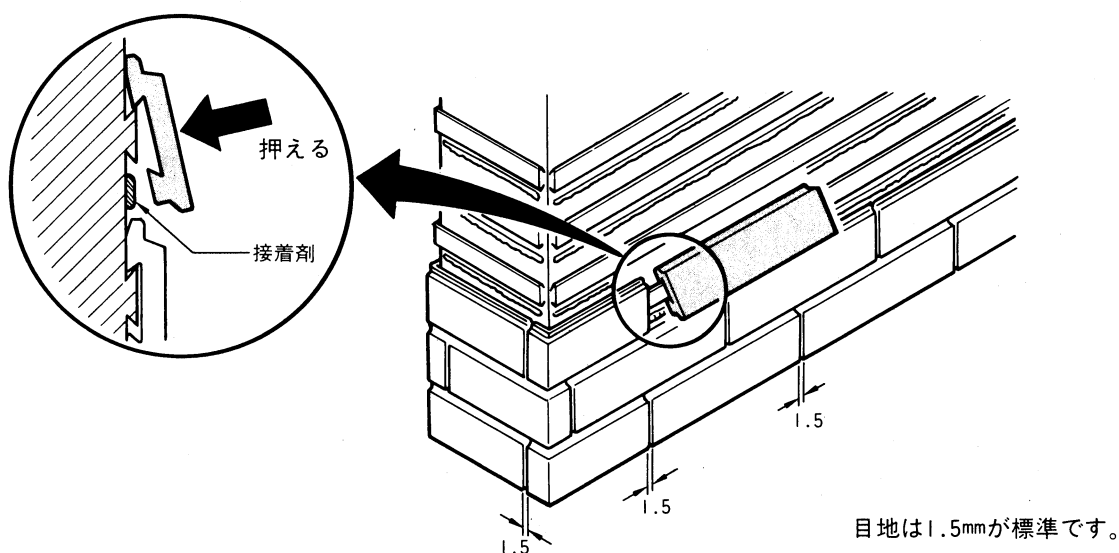
13. 接着剤の塗布

- ① 接着剤は当社指定の物を必ずご使用下さい。
- ② 接着剤のノズルをカッター等で切ってください。(ノズルに付いている溝のうち下から2番目を切りますと所定の量を出し易くなります。(φ5~6))
- ③ タイル引掛け溝の下約15mmの所へ塗布して下さい。(塗布量の目安は接着剤1本で1㎡です)



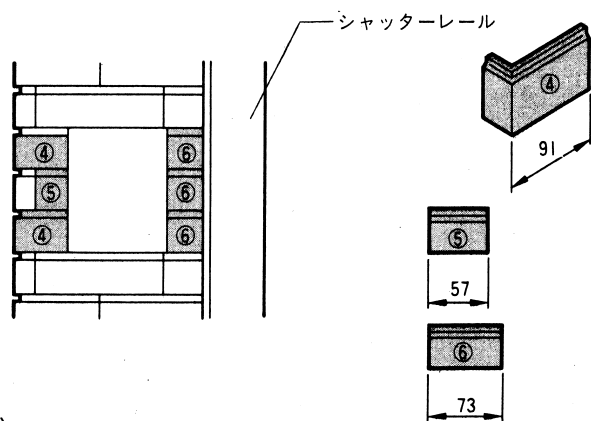
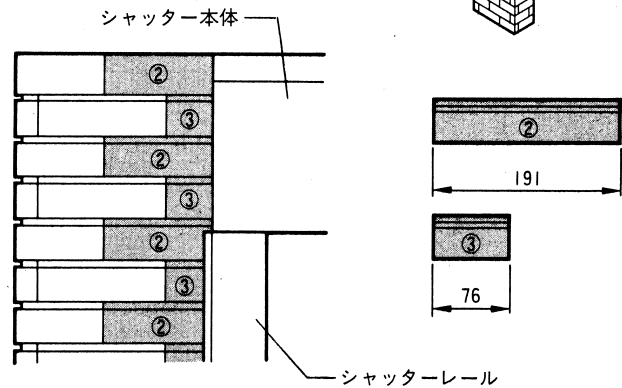
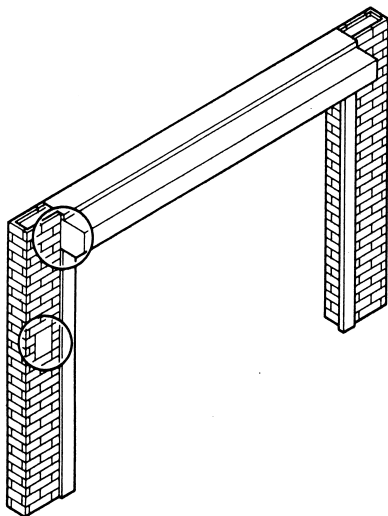
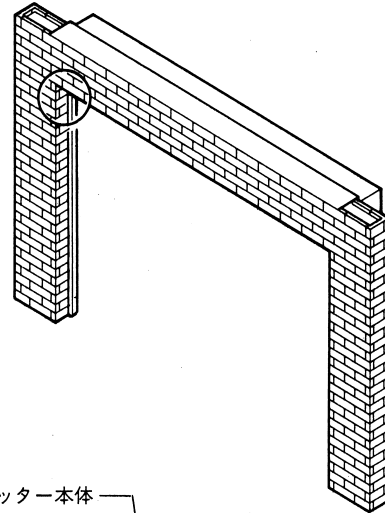
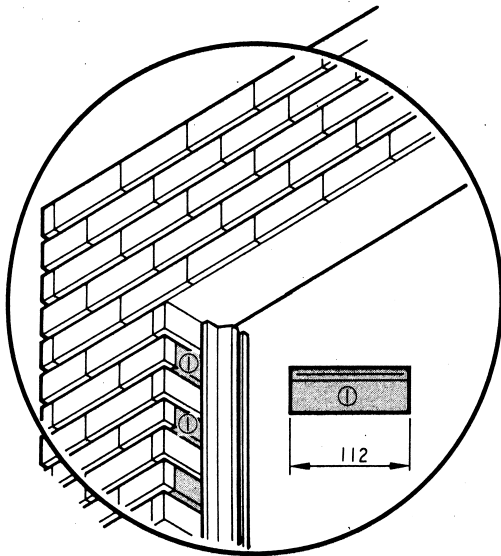
14. タイル張り

- ① タイルは下段から上段に張って行きます。
 - ② 引っ掛け溝にタイル上部を引っ掛けてから接着剤に押し付けます。
 - ③ 目地の調整は接着剤塗布後60分以内に行ってください。
- ※ タイル表面に接着剤が付着しない様にご注意下さい。万一付着した場合は硬化する前に拭き取って下さい。

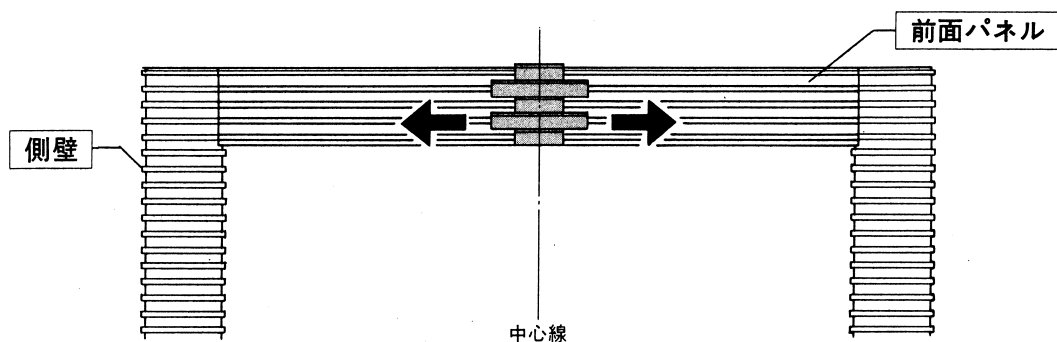


15. タイルの割付

- シャッター・レール・スイッチボックス廻りは、切り物となります。

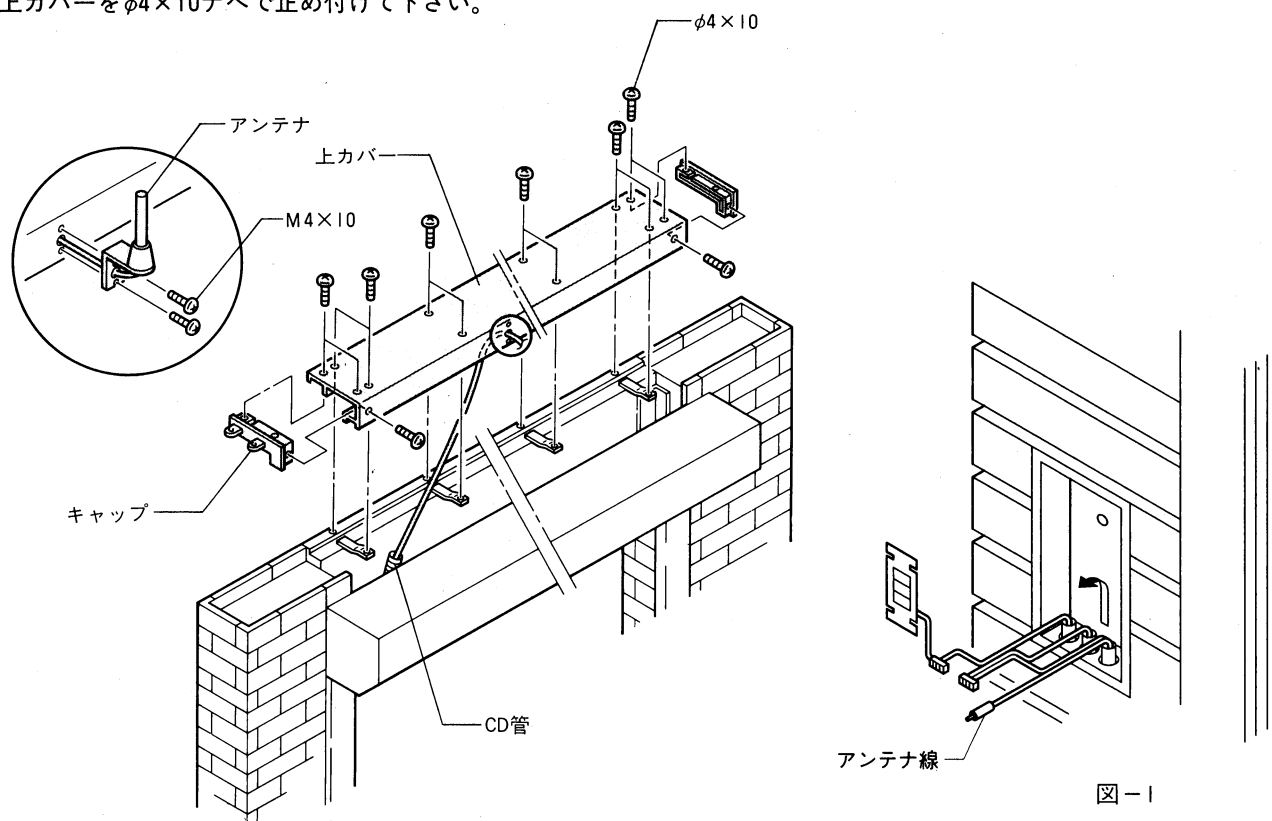


- 前面パネルのタイルはセンターから割り付けて下さい。



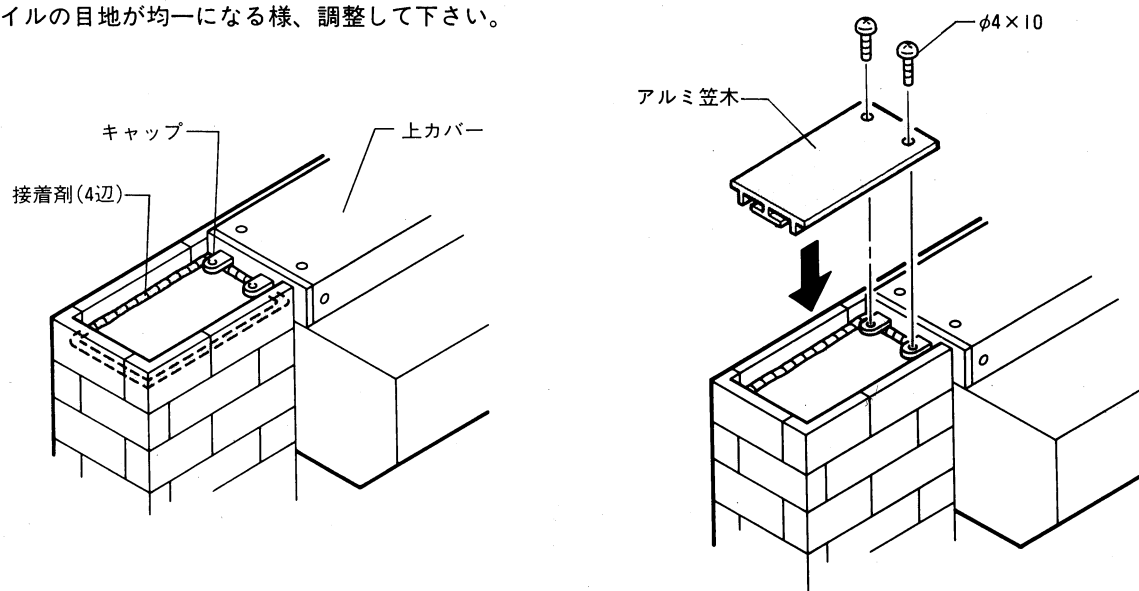
16. 上カバー・アンテナの取付け

- ①アンテナをM4×10で取付け、その際に配線をカバー・CD管を通してスイッチボックス内に出して下さい。(図-1) アンテナ線はスイッチボックス内右側のCD管より出ます。
- ②キャップを上カバーにφ4×10ナベで取付けて下さい。
- ③上カバーをφ4×10ナベで止め付けて下さい。



17. アルミ笠木の取付け

- ①タイル周辺に接着剤を塗布します。
- ②アルミ笠木を充分押え接着し、φ4×10のビスで止めて下さい。
- ③タイルの目地が均一になる様、調整して下さい。



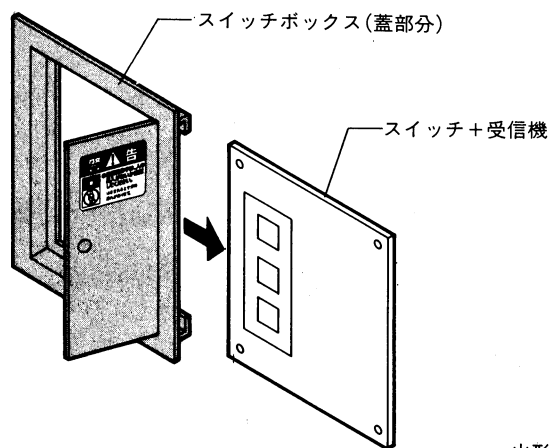
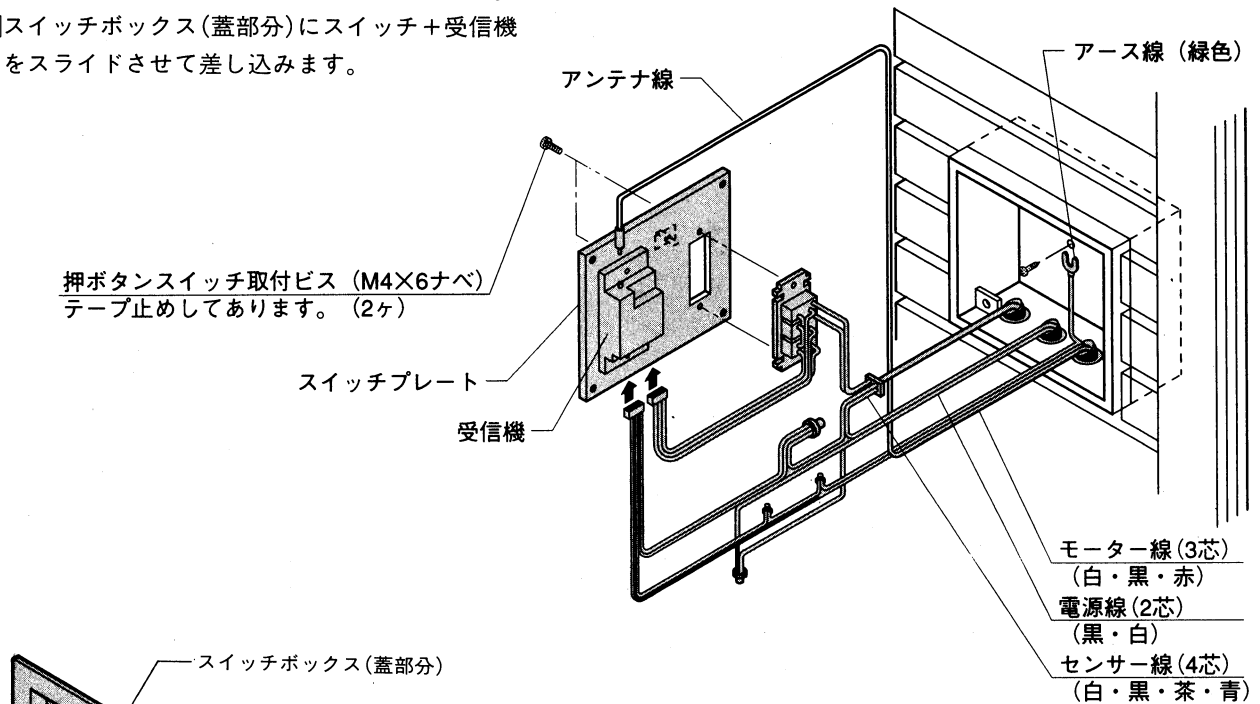
18. スイッチボックスの取付け

①受信機が取付けられたスイッチプレートに押ボタンスイッチをM4×6ナベ2本で取付けて下さい。
(取付ビスは、プレートにテープ止めされています)

②コードコネクターを受信機に下側よりアンテナ線は上側より差し込んで下さい。

③アース線(緑色)を、スイッチボックス背面の固定ビスに止め付けて下さい。固定ビスは上下2ヶ所にあります。どちらでもかまいません。

④スイッチボックス(蓋部分)にスイッチ+受信機をスライドさせて差し込みます。

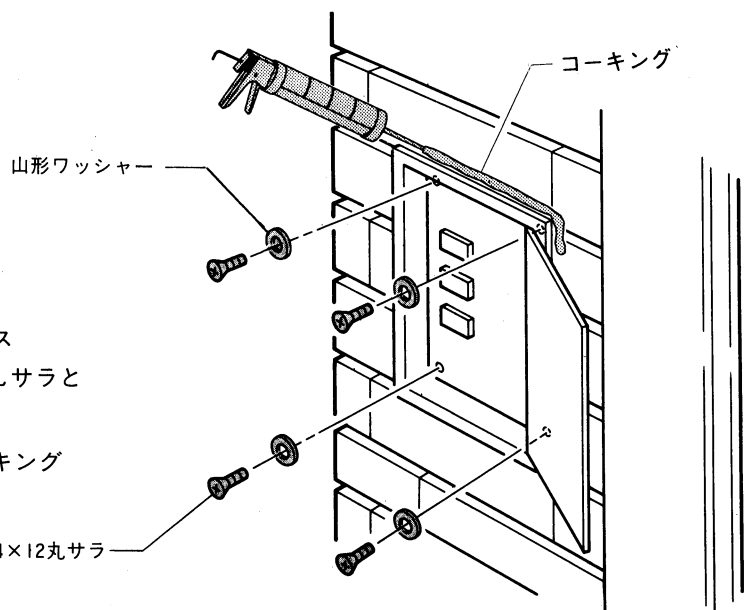


注意
コード類は、注意してスイッチボックス内に納めて下さい。無理をしますと断線の原因となります。

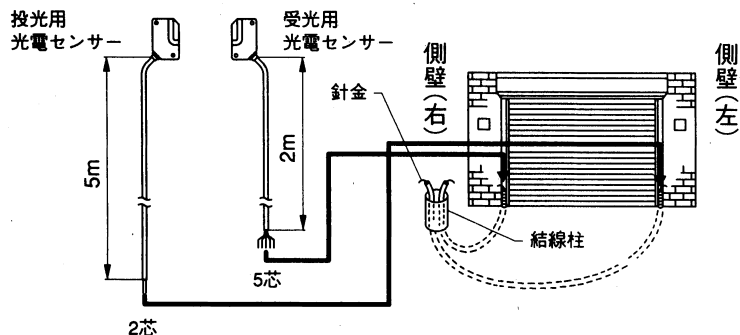
⑤スイッチボックス本体にスイッチボックス(蓋部分)、スイッチ+受信機をM4×20丸サラと山形ワッシャーで取付けます。

⑥スイッチボックス蓋の外周すべてにコーキングを施して下さい。

(コーキング剤は梱包に含みません。M4×12丸サラ市販品をご使用ください。)



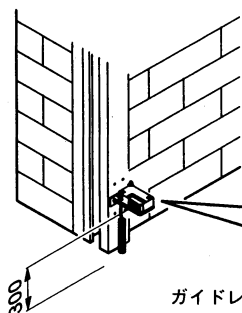
19. 光電センサーの取付け



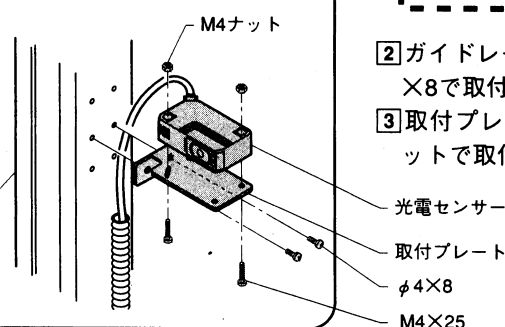
- 1 光電センサーケーブルを本体レール下部側より結線柱に、CD管付属の針金を利用して通して下さい。尚、5mケーブルの投光用光電センサーは側壁(左)より、2mケーブルの受光用光電センサーは側壁(右)より通して下さい。

注意

- センサーは、左右両レールにありますので、両方取付けて下さい。
- 光電センサーカバーには、左右があり、CD管用穴が下です。



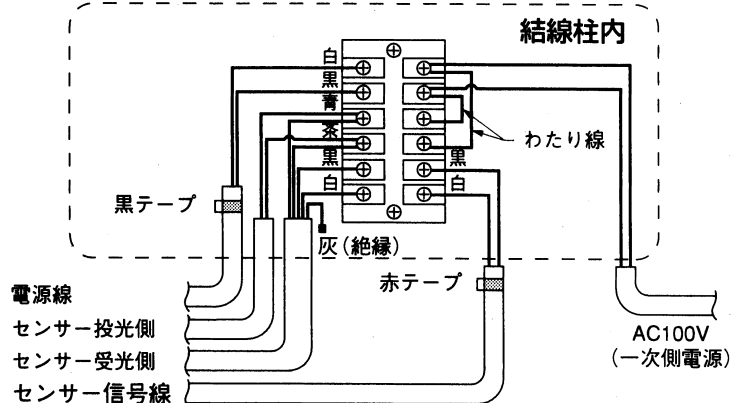
1. 光電センサーの取付け



- 2 ガイドレールに光電センサー取付プレートをφ4×8で取付けます。
- 3 取付プレートに光電センサーをM4×25とM4ナットで取付けます。

光電センサー
取付プレート
φ4×8
M4×25

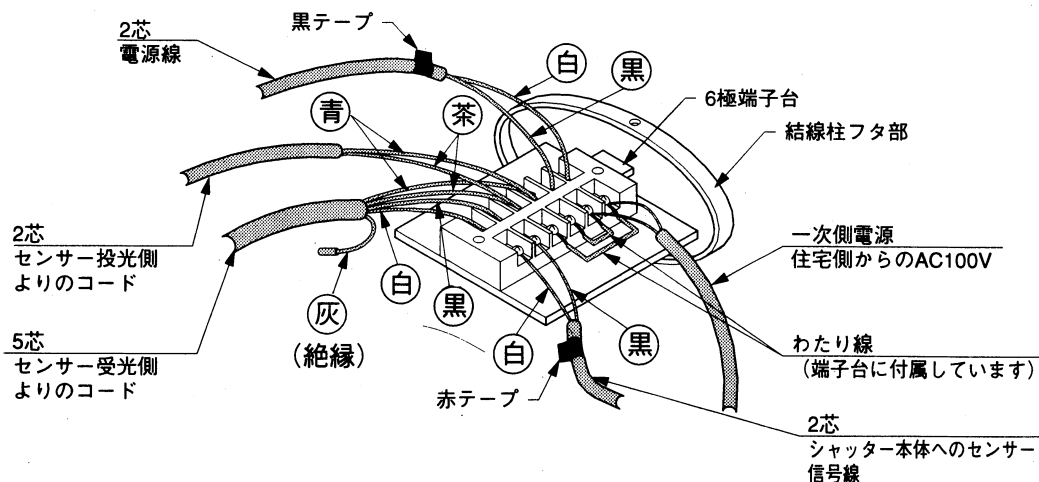
20. 結線 (この結線工事のみ有資格の電気工事店様にご依頼下さい。)



- 左図は、結線柱内での電源およびセンサーの結線を示します。結線図に従って結線を行なってください。

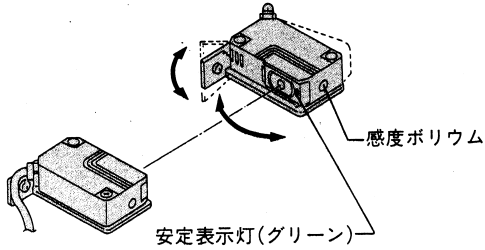
注意

- 家側よりのAC100V電源が切れている事を確認して下さい。
- 結線図とリード線の色で、結線に間違いがない事を確認してから電源を入れて下さい。
- センサー線を結線柱内で端子台に接続する場合は、棒型圧着端子をご使用下さい。



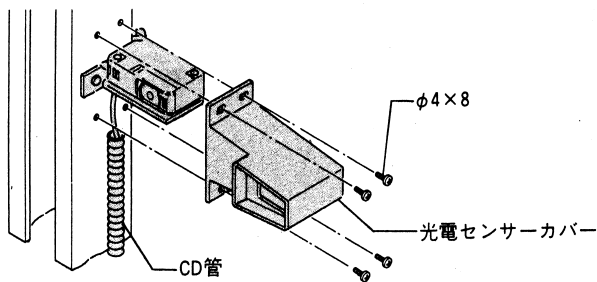
21. 光電センサーの調整

- ①電源を入れて下さい。
- ②光電センサーの光軸調整を行います。



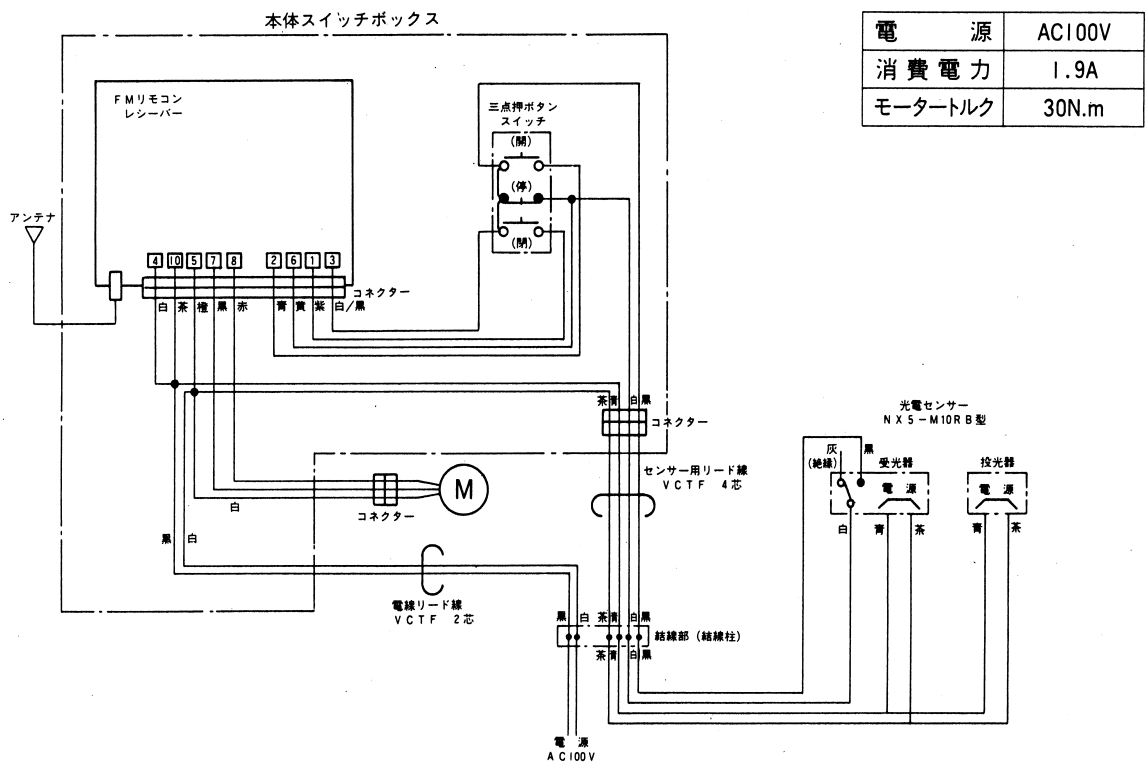
- ①光電センサーを対向させ上下左右に調整し、受光機側の安定表示灯(グリーンのみ)が点灯する範囲のほぼ中央で固定して下さい。
- ②①の操作を逆方向の光電センサーでも行って下さい。

- ③光電センサーカバーをφ4×8で取付けて下さい。
- カバーには、左右があり、CD管用穴が下になります。



(注意) 感度調整等、光電センサー詳細については、光電センサー付属の説明書をお読み下さい。

22. 配線図



電 源	AC100V
消 費 電 力	1.9A
モータートルク	30N.m

注意

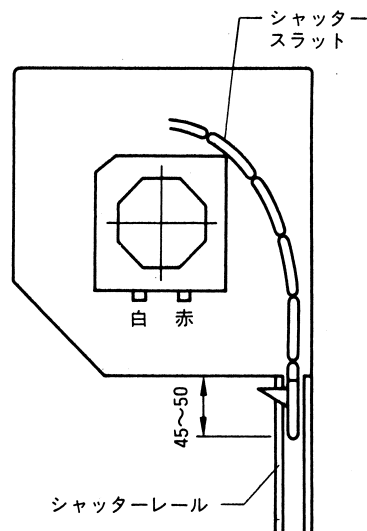
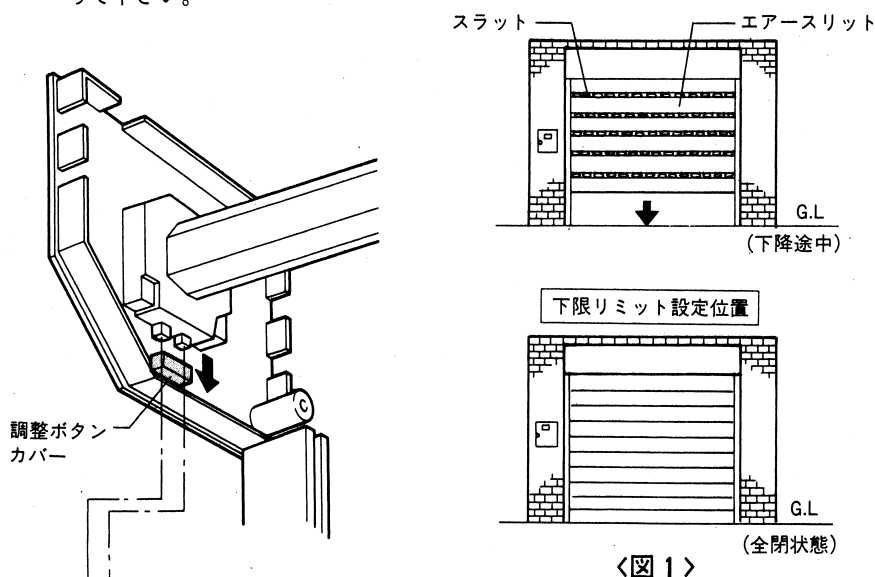
モーターについて

5分以上連続で運転をしますと、モーターの保護装置が働いて動かなくなりますが、故障ではありません。20分ほどたてば保護装置が自動復帰して、再び動くようになります。

23. リミットの調整方法

これらの操作は、電源(AC100V)を結線後行って下さい。リミット調整は、工場出荷段階で行なわれておりますが、現場状況により調整される場合は、以下の要領で行って下さい。

- ①上限・下限の停止位置の設定は、押ボタンで行います。
- ②調整ボタンカバーをはずしシャッタースラットがシャッターレールに入っていることを確認し、以下の操作を行って下さい。



〈図2〉

赤ボタン

—下限の設定(下限のリミット調整)—

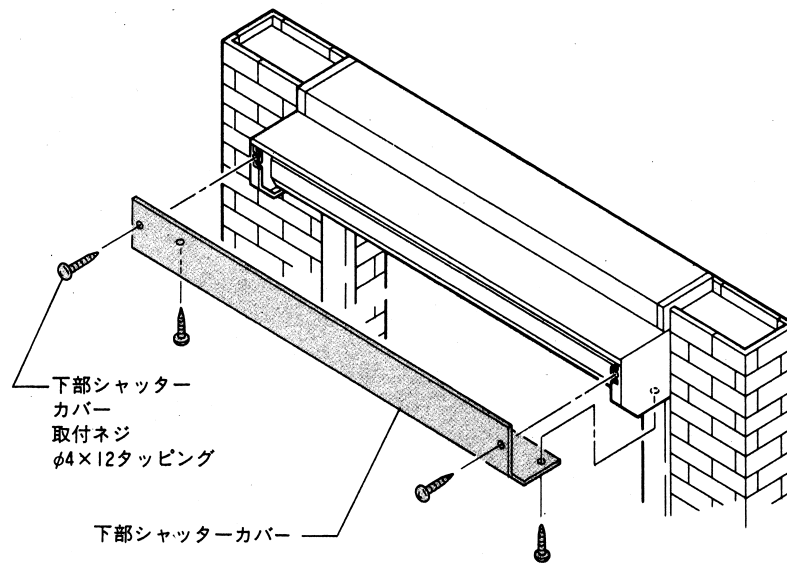
1. 押しボタンスイッチ ∇ のスイッチを押して、シャッターを下降させG.Lから約50cm～1m位の位置で $\boxtimes$ のボタンを押してシャッターを停止させて下さい。
2. モーターの赤ボタン(下限リミット調整ボタン)を中まで強く押込んで下さい。(ドライバー等で)
3. ∇ の押しボタンスイッチを押して、モーターの赤ボタン(下限リミット調整ボタン)を押し続けて下さい。
4. モーターの赤ボタンを押続けている間、スラットが下降しますので所定の位置で赤ボタンから手をはなして下さい。(図1のエアースリットが消える位置)
5. 下限リミット設定完了です。
設定中、下げ過ぎた場合一度押しボタンスイッチ $\triangle$ を押し、スラットをG.Lから1m位まで上昇させてから再度2～4の操作を行なって下さい。

白ボタン

—上限の設定(上限のリミット調整)—

1. 下限リミット設定後、押しボタンスイッチ $\triangle$ のスイッチを押して、シャッターを上昇させG.Lから50cm～1mの位置で $\boxtimes$ のボタンを押してシャッターを停止させて下さい。
2. モーターの白ボタン(上限リミット調整ボタン)を中まで強く押込んで下さい。(ドライバー等で)
3. $\triangle$ の押しボタンスイッチを押して、モーターの白ボタン(上限のリミット調整ボタン)を押し続けて下さい。
4. モーターの白ボタンを押続けている間、スラットが上昇しますので図2の位置で白ボタンから手をはなして下さい。
5. 上限リミット設定完了です。
設定中、上げ過ぎた場合スラットがレールに入っている事を確認し、押しボタンスイッチ ∇ を押し、スラットを1m位下降させてから再度2～4の操作を行なって下さい。
(リミット調整が完了しましたら2～3回試運転して、設定位置を確認してからカバーをして下さい。)

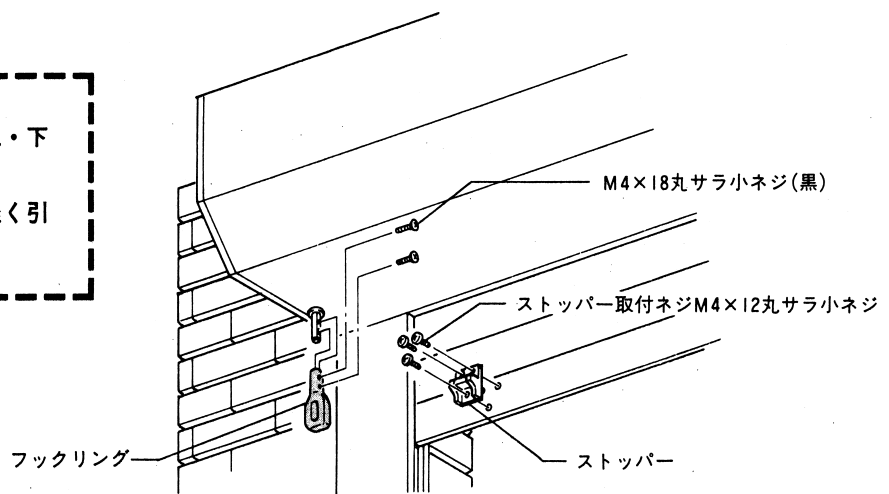
24. 下部シャッターカバー・フックリング・ストッパーの取付け



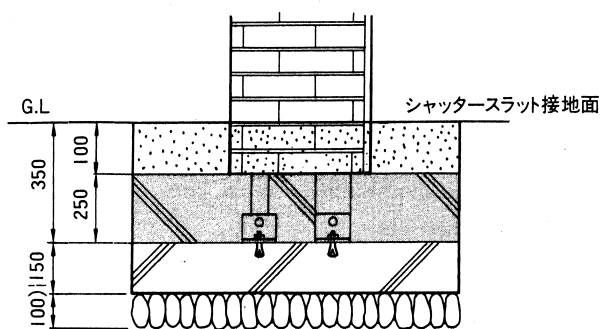
- ① 下部シャッターカバーをφ4×12タッピングビスで取付けます。
- ② フックリングをM4×18丸サラ小ネジ(黒)で取付けます。
- ③ ストッパーをストッパー取付ネジM4×12丸サラ小ネジで取付けて下さい。

ポイント

フックリング取付部は、上・下にスライドします。
入り込んでいる場合は、軽く引き張り出して下さい。



25. 土間コンクリート打ち



- G.L.まで土間コンクリートの打設をお願いします。

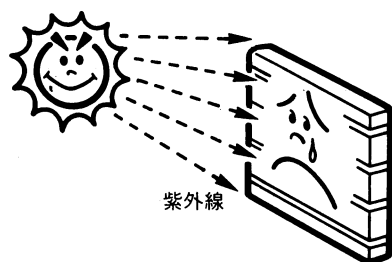
(側壁左・右シャッターレールの間のシャッタースラット接地面は水平レベルを出して下さい。)

26. 施工上の留意点とお願い

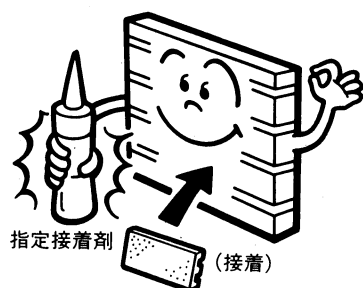
1) 下地材に関する留意点

- 下地材は太陽光線のもとに長期間放置すると紫外線により表面が劣化するおそれがあります。

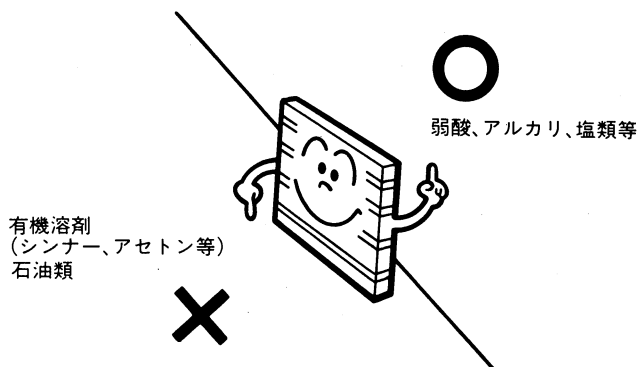
開梱、固定後は速やかにタイル張りを行って下さい。日を置く場合は必ずシート、ダンボール等で養生をして下さい。
万が一劣化等が見受けられましたら、すみやかにブラシ等でお取り下さい。



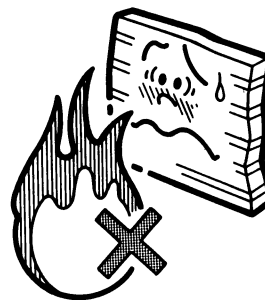
- タイルの接着には必ず当社指定の接着剤を使用して下さい。他の物を用いますと接着剤に含まれる有機溶剤で下地材が侵されたり、接着不良を起こしたりします。



- 下地材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などには優れた抵抗性を持っていますが、アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っています。



- 下地材は難燃材を含んでいますので、微少火源では着火しにくくなっていますが、燃える性質があります。火気には十分にご注意ください。また、80℃以上になると変形しますので、高温のものは近付けないでください。



2) タイルに関する留意点

- タイルはJIS A5209(陶磁器質タイル)で種類・形状および寸法・外観・反り等の基準が規定されており、テグラゲートのタイルもこれに準じております。ただし、長さ、幅、反りについては許容値が大きい事をご承知おき下さい。
- タイルには焼物特有の色幅があり、これが独特の風合となります。特に「レンガ色」は製法上、色調のバラツキ色幅が大きくなり、虹状に見える場合があります。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取って下さい。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意下さい。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡し下さい。

- 御使用頂きましてありがとうございました。次回も当社の製品を御使用下さい。